

## 海城中学高等学校

# 卓越した体験学習を軸に グローバルスタンダードの 「学力」と「人間力」を育成



海城中学高等学校

校長 **大迫 弘和** 先生

130年を超える歴史を持つ海城中学高等学校は、リベラルでフェアな精神を持つ「新しい紳士」の育成を目標に、先進的な教育を行ってきました。特にこの30年間は学校改革を積極的に進め、体験を重視する独自の教育プログラムが大きな成果を上げています。さらに今年4月から、国際バカロレア (IB) 教育の普及に尽力してきた大迫弘和先生を校長に迎え、さらなる飛躍が期待されています。同校の教育の特色と今後の展望について、大迫先生に伺いました。



### 聞き手



サピックス  
教育情報センター所長  
**神田 正樹**



サピックス小学部  
事業本部  
**溝端 宏光**



### 「人が人らしく生きるために」 役目を果たせる教育をめざす

**神田** 最初に、貴校の沿革と大迫先生が校長に就任された経緯をお聞かせください。

**大迫** 本校は1891 (明治24) 年、佐賀藩出身の古賀喜三郎により、「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神の下、海軍兵学校に入るための予備校として設立されました。この学校は戦後もなく閉校命令を受けましたが、何とか乗り越えて再スタートを切りました。そのときの先生方の思いは、国のために身をささげることと戦前の教育の反省から、「生徒一人ひとりに寄り添って、個々の自己実現を支援することを最大の使命としよう」というものでした。この思いを核に練り上げられたのが公正さを前提としたリベラリズムの教育理念であり、リベラルでフェアな精神を持つ「新しい紳士」の育成という教育目標です。

わたしは海城学園理事長の古賀喜博先生からお誘いを受け、この4月に校長に就任しました。それまでは国際バカロレア (IB) 教育に関する仕事、主に文部科学省やIB機構に協力して、国内でのIB普及に努めてきました。伝統ある学校の校長職とは本質的に違う仕事をしてきましたが、それでもお引き受けすることにしたのは、海城学園の教育がわたしの教育観と重なることを強く感じたからです。

本校は「新しい紳士」を育てるうえで重要な

ものとして「新しい学力」と「新しい人間力」を掲げています。これはわたしが教育について抱いていた考えに近いものであり、校長として海城の教育をより強くしていくことに貢献できるのではないかと思います。

**神田** 先生の教育観の根底には、どのようなものがあるのでしょうか。

**大迫** 生きるために生活があります。それなのに、生活をしながら「生」を失っていくという、現代社会の病理のようなものがあります。教育も同じです。生きるために教育があるのに、教育を受けることによって「生」を喪失していくことがあります。わたしはそういう教育に早くから強い疑問を持っていました。「生」と教育はつながり合っていないと。そう思ったときに出会ったのがIBです。人が人らしく生きていくための役目を果たすのが教育であり、それがしっかりできていれば、いろいろな意味で結果が出ます。たとえば受験について、子どもたちが希望する大学に行けるよう支援するのは中等教育機関の使命ですが、「生」と結びつく教育をしていけば、そのような使命は自然に達成されるのです。本校にはそういうシナリオが書ける条件がそろっていると思います。

AIが社会に浸透し、ChatGPTも登場しました。そのような世界では「知とは何か」を問い、「知」を価値化していくことがとても重要になります。教育を通して子どもたちのなかにどう「知」を形成していくかがこれからの課題です。数学には数学知が、社会科には社会知が、体





## 教育を通して子どもたちのなかに どう「知」を形成していくかが課題です。

育には体育知があるように、各教科には「教科知」があります。それぞれの教科において、本校はすでに非常に高い「知」を子どもたちのなかに形成しています。その教科知の強さをより深く価値あるものにし、海城全体の教育の知として高めていく。それが「新しい学力」「新しい人間力」の総称になると思います。それは日本がこれからつくっていくべき教育のモデルにもなり得るものです。本校はそれくらいの志を持つ学校であり、先生方はそういうことに対して応える用意ができています。

### グローバルスタンダードの教育が 自然に海外大学への進学につながる

**溝端** 先生のお話を具体的に形にするとしたら、海城学園にIBを導入するということになってくるのでしょうか。

**大迫** 校長就任以来、各学年の保護者会に出席し、保護者の方々の期待を感じながらごあいさつする機会がたくさんありました。そこでわたしは、海城とIBとを結びつけることはないと言いました。ただわたしがIBに携わるなかで形成してきた教育観や国際標準についての考え方は、海城の発展のために生かせると思っています。グローバルスタンダードの教育については、本校ではわたしが種をまく必要はありません。

これまで積み重ねられてきた教育により、すでにその芽が出ています。それが美しい花を咲かせるような肥やしを入れるのが、わたしの役目だと思っています。

**神田** 実際、貴校はこれまで海外のトップレベルの大学に卒業生を送り出しています。それをさらに増やしていくために力を尽くすということになりますか。

**大迫** 増やしていくというより、自然にそうなると思いますし、そのための環境をつくるのが大事です。

**溝端** 海外大学に進学する際に不可欠なのが語学力ですが、英語教育にはどのような特徴がありますか。

**大迫** 本校では、2015～16年にICTのインフラ整備が完了しています。全教室に電子黒板機能付きの可動式プロジェクターを導入し、全員の持つデバイスとつなげるようになりました。それを真っ先に授業に生かしたのが英語科の先生方です。さらに発展させる形で、現在は若手の先生方が知恵を出し合って、ICTと組み合わせた興味深いプログラムの開発に取り組んでいます。もう少しすると発表できるとは思います。そうしたことができる先生方が本校にはそろっています。

**神田** 楽しみですね。地球の裏側の人たちとすぐにコミュニケーションが取れるようになったわ

けですから、特に英語はさまざまな活用が考えられますね。

**大迫** わたし自身は先生方に新たな負担をかけようとは思っていません。ただ、すでにやっていることに対しての意味や価値を意識的に構築して欲しいと思っています。「新しい学力」「新しい人間力」もそうです。この教育目標を掲げた時期と今とは状況が変わっていますから、今それをやる意味をはっきりさせて、価値を確認していくことが必要です。そうすることで海城の教育全体が一つの生命体として、より強靱なものになっていくでしょう。たとえば、多様性教育といっても、多様な人々とコンタクトできても、それだけで終わったのでは意味がありません。人と人とが受容し合うとはどういうことなのか、授業だけでなく学校全体の活動のなかで考えなくてはなりません。活動の一つひとつが意味を持つような、全体的な構想が必要です。

### 演劇的な手法を用いた体験学習で 「新しい人間力」を育成

**溝端** 特徴的なプログラムについて伺います。まず「新しい人間力」を育てるためのプログラムとして「プロジェクトアドベンチャー (PA)」があります。具体的にどんなことをするのでしょうか。

**大迫** 「新しい人間力」とはコミュニケーション能力とコラボレーション能力を兼ね備えた力のことです。PAは丸太やロープなどから成るエレメントを使って、チームで課題に取り組む力を育てるプログラムです。たとえば、横たえた丸太の上に1グループ十数名がランダムに乗ります。それを丸太に乗ったまま、左から生年月日順に並び替えることを、ことばを一切使わずに行うのです。全員が力を合わせ、試行錯誤してクリアするなかで、仲間や他人を理解する姿勢や仲間にはたらきかける力を育むのが狙いです。また、一つのアクティビティーが終わるごとに振り返りをして、同じような状況のなかで活用できるよう汎用的な知恵としても蓄えていきます。

**溝端** 「新しい人間力」を育むもう一つのプログラムが「ドラマエデュケーション (DE)」ですね。これはどのような内容ですか。

**大迫** 演劇の手法を用いて体験的に学ぶものです。中1では「安全ワークショップ」というものを各学期に行っています。新入生の多くは、勉強は得意だけれど「非認知能力」はそれに比してまだ十分ではないケースが多く見られ、放っておいたら対立やいざこざが起きてしまうこともあります。それをいかに回避するかを演劇的な手法を使いながら考えていきます。キー

ワードは「カイトケーション」という造語です。快適+コミュニケーション、つまり人と人とがお互いに不愉快にならない程度に心地よく関わるために、自覚したスキルを持つことが必要だということから始まります。また、中2で取り組んでいるのは聞き書きに基づく創作です。近所の商店街の方や神社の神主さんなど、いろいろな職種の人に、人生でいちばん印象に残った経験について伺い、それを基にドラマを作ります。生徒にしてみればまったく知らない世界の人たちです。そういう人たちと接する機会は、社会科の総合学習でも設けています。社会科ではレポートを書くようなとき、必ず取材に行きます。自分でアポイントを取って、どんな人なのかかわからない相手に話を聞きに行くわけです。そういうことを中1から何回も繰り返しますから、先ほど申し上げた多様性教育の種もそういう形でまかれていくといえます。

**神田** 相手はプロフェッショナルの方ですね。プロの大人に中学生が話を聞いて、自分なりに学んでいく。とても優れたプログラムですね。

**大迫** ドラマを作るときは、演劇のプロの方々が教えに来てくださいます。ただ自分たちが楽しいと思うだけのいい加減なものを作ると、リハーサルの段階で駄目出しをされます。「これでは見に来てくれた人に何も伝わらない。そんなものは評価しません」と。すると一生懸命に作り直します。それが大事な経験になります。その世界のプロのことばを素直に受け止め、自分たちだけで楽しむようなものでは意味がない、ということがわかるのです。

### 質の高い社会科の卒業論文は 日々の授業の積み重ねから

**大迫** わたしは、ご紹介したようなプログラムの一つひとつが、一つの全体となるよう言語化し、大きな意味づけをすることによって、本校の教育がもっと実り豊かなものになっていくと思います。

**溝端** わたしたちも塾の立場ではありますが、教育内容やその意義を言語化することを日々考えています。たとえば「考える力を育てる」と言いますが、「考える力」とはどういうものなのか、本質的なことほど言語化するの難しい気がします。

**神田** その意味では先生方も常に学んでいらっしゃるということですね。先生が生徒と一緒に体験して学んでいるところも、貴校が伸びている一つの要素だと思います。

**大迫** それが海城の文化なのだと思います。



上下/地学実験室には化石や鉱物のほか、地層のはぎ取り標本も展示。校舎そのものが教材となっています



上/全面人工芝のグラウンド。隣接するオムニコートも含めて、1万3000㎡の広さがあります

下/新理科館「Science Center」には、各分野の特徴を生かした九つの実験室がそろっています



**神田** 中3になると社会科の卒業論文があります。これも最終的には発表会があって、皆さんが非常に感心される取り組みだと思います。先生からご覧になっていかがですか。

**大迫** 論文を見ると、レベルが非常に高いことがわかります。中3でこれだけの内容が書けるのかと感心します。まだ発表会は見えてませんが、社会科の授業は見学しました。非常にいいに進めていて感動しました。この授業があるから、最後に立派な論文が書けるのだと納得できます。先ほどの取材にしても、電話のかけ方からお礼状の書き方などまで、すべて手取り足取り教えています。論文の書き方も、全体が10枚なら序文は1.5枚で、本文はこれくらいで、と具体的な数値を示して教えています。

**神田** 入試でも貴校の社会科の記述問題は、基本的な学習をしたうえできちんとしたセオリーに基づいて書かないと点数をもらえない、という問題になっていますよね。

**大迫** おっしゃるとおりです。

**神田** それも東大の合格実績が高いことにつながっていますね。東大入試の記述問題が解ける力はそういうものだと思います。

## 国内外への多様な道を開く データ分析に基づく進路指導

**溝端** 進路指導でいちばん大切にしたいのはどんなことですか。

**大迫** 実績を積み重ねている学校ですから、結果についてはたくさんの人から期待されていると思います。しかし、そのための教育はしません。先ほども申し上げましたが、本質的な教育をしていれば、おのずと期待に応える結果が出てきます。

**神田** 大学合格実績を拝見しますと、たとえば国公立大学の現役合格率は44.4%と、半数近

くが現役で国公立大学に合格しています。高2から文科系・理科系に分かれますが、それまで幅広い教育を受けて力を蓄えてきたからこそその結果だと思います。

**大迫** 学習指導部が定点観測をして、徹底的なデータ分析をしています。たとえば中学の3年間で上位と下位の成績が開いた学年と開かなかった学年とを比べて、出口の結果はどう違うのか、といったこともデータを出していきます。すると開かなかった学年のほうが結果は良いわけです。そういう結果が数値として出てくると、みんな納得しますから、中学では上位と下位の差が開かないようにしようと意思統一ができます。中学段階では、つまづいた生徒に対して随時いいいな補習をします。高3になると夏休みはお盆以外ほとんど夏期講習期間になりますし、そうした伝統的な手法は進学校として知られる学校として引き継いでいきます。

**神田** その点は保護者の方からの信頼も厚いと思います。海外大学へも素晴らしい実績を残していますね。ましてや今回、海外大学への進学に関して非常に頼りになる校長先生が来てくださり、保護者の方も喜んでいらっしゃると思います。ますます期待が高まりますね。最後に、受験生に向けてエールを送っていただけますか。

**大迫** 本校に入学したら、こんなことが学べるのか、こんな力をつけることができるのか、こんな人になっていけるのか、そうしたところをよく見てほしいと思います。オープンキャンパスの機会も設けていますので、いろいろな話を聞いて「ここはほくの学校だ」と思ったらぜひ受けてください。

**神田** いろいろな形で情報を発信してくださっているの、偏差値だけであきらめてしまうことなく、行きたいと思ったらがんばってチャレンジしてほしいですね。本日はありがとうございます。



### Profile

海城中学高等学校  
所在地：〒169-0072  
東京都新宿区大久保3-6-1  
JR山手線「新大久保」駅より徒歩5分、東京メトロ副都心線「西早稲田」駅より徒歩8分、JR中央・総武線「大久保」駅より徒歩10分、JR山手線・東京メトロ東西線「高田馬場」駅より徒歩12分、東京メトロ副都心線・都営大江戸線「東新宿」駅より徒歩12分  
TEL：03-3209-5880  
URL：www.kaijo.ed.jp